

# ラダーレベル【 I 】

**定 義:** 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する

## 到達目標:

1. 基本的な知識・看護技術・態度を習得しベッドサイドケアが安全で確実に実施出来る
2. 指導・助言を受け自己の学習課題を明確にすることが出来る
3. 適切な報告・連絡・相談が出来る
4. 社会人として必要な接遇を身に付けることが出来る
5. チームメンバーの役割を認識し責任をもって実践できる。

## 看護実践能力

### 1.助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる

- 助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる
- ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる

### 2.助言を得ながら、安全な看護を実践する

- 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる
- 指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる
- 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる

### 3.関係者と情報共有ができる

- 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる
- 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる
- 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる
- ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる
- 連絡・報告・相談ができる

### 4.ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る

- 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる

## 組織的役割遂行能力

1. 各部署の役割を理解することが出来る
2. 医療安全や感染について自己の役割を理解し、指導を受け行動出来る
3. 患者・同僚・上司の考えや意見をよく聞き尊重出来る
4. 部署の人と人間関係を築くためのコミュニケーションをとることが出来る
5. その場の状況を理解し、適切な報告・連絡・相談が出来る
6. 標準予防策に沿った感染対策を実践できる
7. 緊急事態を察知・判断でき、応援を求めることが出来る

## 自己教育・研究能力

1. 自己の看護観を述べ表現することが出来る
2. 院内教育プログラムに参加することが出来る
3. 自己の学習を報告することが出来る
4. 自己学習の必要性を理解し、積極的な学習行動をとることが出来る
5. 他者の看護研究に意欲を持ち協力することが出来る